

「白河院説話を讀もう」の年表(1)

西暦	和暦	天皇	院政	摂政関白	事項
1047	永承2	後冷泉		関白頼通	10.14 藤原歆子、後冷泉天皇に入内。
1050	永承5				12.22 藤原寛子、後冷泉天皇に入内。 11.- 『橘俊綱家歌合』が催される。
1051	永承6				2.13 後冷泉天皇女御藤原寛子を皇后とする。 前九年合戦、始まる。
1052	永承7				3.28 藤原頼通、宇治別業を平等院とする。 この年、末法に入る。
1053	天喜元				3.4 藤原頼通、平等院内に阿弥陀堂を供養。 <u>6.20 白河院、生まれる。</u>
1062	康平5				6.22 藤原茂子(白河天皇母)没 前九年合戦、終わる。
1068	治暦4			関白教通	4.17 後冷泉天皇中宮章子内親王を皇太后、藤原歆子を皇后、藤原寛子を中宮とする。 4.19 後冷泉天皇崩御 44、後三条天皇即位。 12.4 後冷泉天皇中宮藤原寛子出家
		後三条			
1069	延久元				6.4 藤原兼房没 69 <人麻呂像> 延久の荘園整理令
1072	延久4	白河			<u>12.8 白河天皇即位</u>
1073	延久5				5.7 後三条院崩御 40
1074	承保元				2.2 藤原頼通没 83 10.3 上東門院藤原彰子没 87 藤原歆子、常寿院を建立し、御願寺とすることを請う。 <小野の皇太后宮>
1075	承保2				7.13 源頼義没 88 8.13 白川御願寺(法勝寺)上棟 9.- 藤原通俊『後拾遺和歌集』撰進の勅命を受ける
				関白師実	9.- 『承保二年九月殿上歌合』催される。
1076	承保3				10.24 大井川に行幸。『大井川行幸和歌』序を源師房が作る。
1077	承暦元				12.18 法勝寺に行幸、金堂・講堂・阿弥陀堂など供養。
1078	承暦2				4.28 『正暦二年内裏歌合』が催される。
1081	永保元				1.4 藤原泰憲没 75 <近江石田殿>
1083	永保3				10.1 法勝寺に行幸、九重塔・薬師堂・八角堂を供養。 後三年合戦、始まる。
1084	応徳元				9.22 白河院中宮藤原賢子没 28
1086	応徳3				9.16 藤原通俊『後拾遺和歌集』を奏覧する。

「白河院説話を讀もう」の年表(2)

西暦	和暦	天皇	院政	摂政関白	事項
1086	応徳3	堀河	白河	摂政師実	11.26 堀河天皇即位。 <u>白河院、院政を始める。</u> 鳥羽殿(鳥羽離宮)の造営始まる。
1087	寛治元				2.5 鳥羽殿完成、白河院が初めて御幸する。 6.2 白河院、法勝寺で懺法を行う。 後三年合戦、終わる。
1090	寛治4			関白師実	
1091	寛治5				12.17 白河院、熊野に多宝塔を供養。
1092	寛治6				『栄花物語』最後の記事 藤原定綱没<法勝寺九重塔の修理>
1093	寛治7				3.8 白河院、八角九層の塔を見るために法勝寺へ御幸。 5.5 『郁芳門院根合』が催される。 6.27 白河院、法勝寺に丈六観音像を供養。 12.24 橘俊綱の伏見殿が焼失する。
1094	嘉保元				7.14 橘俊綱没 67 <伏見の山荘> 8.15 鳥羽殿で和歌管絃の会が催される。 8.19 『高陽院殿七番歌合』が催される。
1095	嘉保2			関白師通	9.5 源顕房没 58 <白河院中宮賢子の父>
1096	永長元				8.28 鳥羽殿で『郁芳門院前裁合』が催される。 8.7 郁芳門院媞子内親王没 21 <u>8.9 白河院出家</u>
1097	承德元				閏 1.6 源経信没 82 <難後拾遺> 平正盛が伊賀の私領を六条院に寄進する。
1098	承德2				6.13 法皇、法勝寺薬師堂に丈六五大尊像を供養。 10.23 源義家に院の昇殿を許す。
1099	康和元				8.16 藤原通俊没 53 <後拾遺和歌集>
1100	康和2				5.21 永観が東大寺別当になる。
1101	康和3				2.13 藤原師実没 60
1102	康和4				閏 5.2 『堀河院艶書合』が催される。 8.17 藤原歆子没 82 <小野の皇太后宮>
1103	康和5				1.25 堀河院女御藤原苺子没 28
1105	長治2			関白忠実	10.26 祇園女御、丈六阿弥陀堂を供養する。
1106	嘉承元				7.5 祇園女御、鳥羽殿で五部大乘経講を行い、法皇が出席。 7.- 源義家没 68
1107	嘉承2	鳥羽		摂政忠実	7.19 堀河天皇崩御 29。鳥羽天皇即位。
1108	天仁元				9.26 法皇、法勝寺金堂に百座仁王講を行う。 『讃岐典侍日記』の記事が終わる。

「白河院説話を讀もう」の年表(3)

西曆	和曆	天皇	院政	摂政関白	事項
1109	天仁2	鳥羽	白河	摂政忠実	2.27 法皇、法勝寺に御幸、北斗曼荼羅堂を供養。 11.-『修理大夫顕季卿家歌合』が催される。
1110	天永元				5.11 法皇、法勝寺で一切経を供養。 白河院、源俊房大江正房らに意見封事を提出させる。
1111	天永2				3.11 法皇、鳥羽新造多宝塔を供養。 5.21 法皇、法勝寺阿弥陀堂で三十講を始める。 7.29 祇園女御、百体大威徳像を安置し威徳寺を供養。 11.2 永観没71 <永観堂>
1112	天永3				12.19 法皇、鳥羽新造多宝塔を供養。
1113	永久元			関白忠実	10.1 祇園女御、平正盛の六波羅蜜堂で一切経を供養。
1114	永久2				9.8 京中の小鳥飼育を禁ずる。 9.14 網代を破却させ、殺生を禁ずる。 11.29 法皇、行幸を仰ぎ、法勝寺丈六九体阿弥陀堂を供養。
1115	永久3				10.26 『永久三年内大臣忠通家歌合』が催される。
1116	永久4				6.4 『六条宰相家歌合』が催される。 8.- 『雲居寺結縁経後宴歌合』が催される。 10.26 白河院、熊野に御幸。
1117	永久5				3.12 法皇、法勝寺に御幸、三重塔を供養。 5.9・11 『永久五年内大臣忠通家歌合』が催される。 11.6 法皇、熊野で塔を供養。
1118	元永元				1.26 藤原璋子を鳥羽天皇中宮とする。 2.10 平清盛生まれる。 6.16 藤原顕季、人麻呂影供を催す。 閏9.22 法皇、熊野本宮で一切経を供養。 10.2・11・13 『元永元年内大臣忠通家歌合』が催される。
1119	元永2				7.13 『元永二年内大臣忠通家歌合』が催される。 9.27 法皇、熊野に御幸。
1120	保安元				5.1 法皇、法勝寺阿弥陀堂に御幸し、三十講を修する。 10.15 法皇、熊野で金泥五部大乘経を供養。
1121	保安2			関白忠通	9.12 『関白内大臣忠通家歌合』が催される。
1122	保安3				4.23 法皇、法勝寺で五寸塔三十万基を供養。
1123	保安4				1.19 法皇、法勝寺北に白河新御堂を供養。
		崇徳		摂政忠通	1.28 鳥羽天皇讓位、崇徳天皇即位。 9.6 藤原顕季没69 <六条修理大夫顕季>
1124	天治元				2.10 白河・鳥羽兩院、雪見の御幸。 11.24 中宮藤原璋子を待賢門院とする。

「白河院説話を讀もう」の年表 (4)

西暦	和暦	天皇	院政	摂政関白	事項
1124	天治元	崇徳	白河	摂政忠通	源俊頼、『金葉和歌集』初奏本を奏覧する。
1125	天治2				11.23 法皇・上皇・待賢門院、熊野本宮に御幸。 この年、殺生を厳禁する。
1126	大治元				6.21 院の門前で漁網を焼却し殺生を厳禁する。 10.21 法皇、京中の鳥籠を集めて放つ。 11.9 法皇・上皇・待賢門院、熊野に御幸。
1127	大治2				8.14 四条宮藤原寛子没 92 10.20 源義光没 89 <館三郎義光> 源俊頼、『金葉和歌集』三奏本を奏覧する。
1128	大治3				2.13 法皇・上皇・待賢門院、熊野参詣に出立。 9.28 法皇・上皇・待賢門院、法勝寺に御幸。
1129	大治4				1.15 藤原顕隆没 58 <白河院別当> 3.15 魚取りの法師を捕らえ、両院の前を渡す。 3.19 法皇、法勝寺五大堂で丈六仏三体を供養。 3.- 平忠盛に山陽・南海道の海賊を追捕させる。
			鳥羽	関白忠通	<u>7.7 白河院崩御 77</u> 源俊頼没<『金葉和歌集』『俊頼髓脳』>
1130	大治5				9.8 藤原為隆没 61 <白河院別当> 10.7 鷹隼の飼育・狩猟を重ねて禁止。
1132	長承元				3.13 平忠盛、内の昇殿を許される。
1133	長承2				8.19 藤原長実没 59 <藤原顕季長男>
1135	保延元				4.8 平忠盛に海賊追捕の宣旨を下す。
1136	保延2				8.14 藤原家保没 57 <藤原顕季次男>
1141	永治元	近衛		摂政忠通	12.7 近衛天皇即位。
1142	康治元				2.26 待賢門院藤原璋子出家。
1145	久安元				8.22 待賢門院藤原璋子没 45
1150	久安6			関白忠通	
1153	仁平3				1.15 平忠盛没 58
1155	久寿2				5.7 藤原顕輔没 66 <藤原顕季三男> 7.23 近衛天皇崩御 17 7.24 後白河天皇即位。
		後白河			

『日本文化総合年表』(1991 岩波書店) 他から抜き書き